

京都大学宇治キャンパスと 宇治市との連携協力懇談会

令和4年7月27日 in 茶づな

目的

【目的】

- ▶ 京都大学宇治キャンパス及び宇治市との連携協力の方向性及び具体的事業について意見交換

【連携協力協定】

- ▶ 京都大学宇治キャンパスの研究環境の充実
- ▶ 宇治市における地域社会の発展



- ▶ 教育、研究、防災・災害対応、広報等の分野において相互に協力

【協力事項】

- (1) 教育の協力・支援に関する事項
- (2) 研究の協力・支援に関する事項
- (3) 防災・災害対応等に関する事項
- (4) 広報等に関する事項
- (5) その他両者が協議して必要と認める事項

- ▶ 平成26年11月25日 包括協定締結
- ▶ 締結以降に連携・協力できる事業を整理しながら実施



これまでの連携協力 **教育**

【取組事項】

- ▶ 宇治市教育委員会の取組連携事業の一環として、科学技術に夢と希望を持つ人材の育成を目指して、本市の小・中学校の理数系教育の推進及び理数系教員の力量向上に向けて協働して研究を行うため、「スクール・サイエンス・サポート事業」を推進している。
- ▶ 京都大学宇治キャンパスと連携して進めている「スクール・サイエンス・サポート事業」の様々な取組の状況については、「宇治市の教育だより」や「学校だより」等を活用して、児童生徒はもちろん、保護者や市民の皆様にも広くお知らせしている。

- 理科教員など小中学校の教員への研修
- 4 研究所での小中学生の施設見学
- 小中学生の理科教室と出前授業

(別紙資料添付)



令和4年度の連携協力 **教育**

【取組事項】

- ▶ **小学生理科教室** 市内小学校5・6年生を対象に講演や施設見学を実施
令和4年度 夏休み親子理科教室 IN京大 (60名(保護者含む))
日 程：令和4年7月30日10:00～11:30
会 場：(講義) きはだホール (見学) 高度マイクロ波エネルギー伝送実験棟
講 師：生存圏研究所 篠原 真毅 教授
テーマ：「線をつながずに電気を送る技術の話とそれが地球を救うかもしれない話」
- ▶ **中学生理科教室** 市内中学校理科(科学)部の生徒(23名)
日 程：令和4年8月3日10:00～12:00
会 場：①セミナー室1 (W-503E) ②セミナー室2 (M-567E)
講 師：①エネルギー理工学研究所 森井 孝教授 中田 栄司助教授 Lin Peng助教
②同 中島 隆准教授 安東 航太特定助教授
テーマ：①光合成色素を分取してみよう！
②レーザーを使って自分のイニシャルが入ったネームタグを作ろう
- ▶ **小学生施設訪問** 市内小学校への出前授業
日 程：令和4年11月22日 午前中
会 場：大久保小学校
講 師：防災研究所 中野 元太助教 テーマ：未定

これまでの連携協力 **防災**

【取組事項】

▶ 宇治市自主防災リーダーの養成講習での講演

地域の防災力向上を図るため、約150名の自主防災リーダーを養成し、積極的に自主防災活動が展開されることを目的とした講習会
令和元年度～令和3年度は新型コロナウイルス感染症の状況により養成講習会を**中止**（例年は前年度12月中旬に講師派遣依頼）



これまでの連携協力 **防災**

【取組事項】

▶ 宇治市防災会議への委員就任

宇治市防災会議を年1回開催しており、委員（学識経験者）として、防災研究所長に委員就任いただいている

中北所長へ委員委嘱依頼

防災会議開催：（令和3年度）5月17日 （令和4年度）7月25日

その他防災に関する研修会での講演、外国人留学生の防災訓練への参加（平成29年度）、例年11月頃に宇治市地域防災計画の修正依頼



令和4年度の連携協力 **防災**

【取組事項】

- ▶ 宇治市自主防災リーダーの養成講習での講演

日程：年度末実施予定（世代交代に対応し次年度以降引き続き開講予定）

- ▶ 防災シンポジウム

今年度から実施する「災害時地域タイムライン作成支援事業」における自主防災リーダー向けの研修

令和4年8月で「京都府南部地域豪雨災害」の発生から10年が経つことから、上記研修は京都府南部地域豪雨災害10年事業の講演として、住民参加可能な基調講演及びパネルディスカッション開講

日程：令和4年7月24日

場所：京都大学宇治おうばくプラザ きはだホール

基調講演登壇者／パネリスト：防災研究所 中北 英一 所長

シンポジウムコーディネーター：防災研究所 牧 紀男 教授

パネリスト：槇島東地区防災対策会議 辻 昌美 顧問

パネリスト：宇治市長 松村 淳子

宇治市 主催
京都府南部地域豪雨災害 10年事業
これまで10年とこれからの10年

日時：R4.7.24(日) 14:00~16:00
場所：京都大学宇治おうばくプラザ きはだホール
定員：150名(要申し込み、先着順)
参加費：無料

基調講演 『自然災害への気候変動影響と適応』
中北 英一 氏
防災研究所 所長
2004年から京都大学防災研究所の所長に就任。防災工学の第一人者。防災研究所の所長として、防災研究の推進に努めている。また、国内外の防災研究にも貢献している。

パネルディスカッション
牧 紀男 氏
防災研究所 教授
2014年から京都大学防災研究所の教授に就任。防災工学に精通している。また、防災工学の分野で多くの研究成果を挙げ、国内外の防災研究にも貢献している。

パネリスト
辻 昌美 氏
槇島東地区防災対策会議 顧問
防災工学の分野で多くの研究成果を挙げ、国内外の防災研究にも貢献している。

宇治市長 松村 淳子 氏
宇治市長として、防災工学の分野で多くの研究成果を挙げ、国内外の防災研究にも貢献している。

これまでの連携協力 **広報**

【取組事項】

▶ 大学イベント等について市広報媒体への掲載・市公共施設への掲示

大学イベント等

- ・ 宇治キャンパス公開
- ・ 各種講座、講演会
- ・ 創立125周年記念 クロックタワーコンサート など

- ▶ 宇治市政だよりにイベント情報掲載
- ▶ 宇治市ホームページにイベント情報掲載
- ▶ 市役所庁舎1階市政情報発信モニターへの掲示
- ▶ 公共施設チラシ配架・ポスター掲載

▶ 引き続き広報へ積極的に連携協力



サーチオフィス canvas.photo28@gmail.comへ。 info@kyoto-u.ac.jp / <http://www.kyoto-u.ac.jp/02event/open.html> www.ujci.kyoto-u.ac.jp/02event/open.html www.ujci.kyoto-u.ac.jp/02event/open.html

京都大学宇治キャンパス公開
2021(要事前申込)

「キミのワロワロ」がここにあり、宇治で過ごす科学的な週末をテーマに最先端施設の見学、体験型のコーナー、展示、その他講演会を実施します。

10月16日(土)・17日(日)午前9時半〜午後4時半 <http://www.ujci.kyoto-u.ac.jp/02event/open.html>

審議会等の傍聴
関連資料は当日、市役所1階行政資料コーナーで閲覧出来ます。

近鉄小倉駅周辺地区まちづくり検討委員会
10月15日(金)午後1時半〜 市役所

これまでの連携協力 その他

【取組事項】

- ▶ ワーク・ライフ・バランス、女性活躍推進等セミナー
男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）ギャラリーにおける展示
男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせて開催
 - 生存圏研究所男女共同参画推進委員会との共同展示
 - ・ 生存圏研究所男女共同参画推進委員会の活動ポスター など
 - ・ 第5次U J I あさぎりプランの紹介
令和4年度 6月22日～7月5日
- ▶ （コロナ前）京都大学宇治キャンパス公開と宇治十帖スタンプラリーの連携
京都大学宇治キャンパス公開実施時に宇治市主催宇治十帖スタンプラリーの
特別ポイントを宇治キャンパス構内に設置



これまでの連携協力 その他

【取組事項】

▶ 京都大学宇治キャンパス産学交流会

目的：京都大学研究所教員及び会員企業間の情報交換、連携の促進

概要：年4回（研究所ごとに開催）開催

主催：京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会、京都府中小企業技術センター、公益財団法人京都産業21

共催：京都やましろ企業オンリーワン倶楽部

協力：宇治市

コロナ禍前は施設見学や懇親会も開催

会員制で令和3年度の会員企業は34社（うち宇治市の企業は10社）

宇治市から交流会等の開催について市内企業へ周知

▶ 京都大学宇治事業場安全衛生講習会

・労働安全衛生法に定められた「安全衛生教育」のため、年1回学内外の有識経験者を講師として
”最大の関心事”や”安全衛生上の話題”をテーマに開催

・連携協定を締結後は、宇治市の職員に対しても案内

・令和2年度、3年度は学内限定でオンラインにより開催したが、令和4年度については、学内に限定しないオンラインにより開催をするため、宇治市の職員の方へも案内の予定

本日の議題

- ▶ これまでの取組を踏まえて、ポストコロナ・アフターコロナ社会における令和4年度取組及び今後の連携協力の方向性を意見交換

- ・ 教育の協力・支援
- ・ 研究の協力・支援
- ・ 防災・災害対応
- ・ 広報

- ▶ その他意見交換

過去協議事項

- ・ 宇治市における外国人留学生等に向けた外国語対応
- ・ 国際歓迎行事への宇治市からの参加
- ・ きはだホールの活用
- ・ キャンパス周辺地域の整備